

同期会だより

東鷹35年会 有馬に集う！

卒業から四十七年、齢六十五、五年ぶりの同期会神戸旅行の案内に、関東・関西・九州各県から六十六名の参加申し込み、予想以上の人数に世話人一同大感激、少々慌てましたが嬉しいかぎりでした。

当日は、予想通りの賑わいとなり「ヤアヤア！」(久しぶりの再会)から「マタナ・マタネ、元気で！」(名残の尽きぬ別れ)まで、十八の昔に戻り青春満開の素晴らしい同期会でした。

行程のあらましは次の通りです。

平成十九年四月十六日(月)十二時十五分新神戸駅集合。貸切バス二台で六甲ドライブウェイ経由で有馬温泉へ。九州では葉桜だった山桜が満開のまま迎えてくれました。(参加の女性は姥桜?……ではありませんせ～ん)バスに乗り込んだ瞬間から時は遡り十八の春、けたたましくお

しゃべりが始まり、修学旅行気分。十五時に有馬温泉に到着。天下の金泉・銀泉の湯につかり、十七時三十分から懇親会、飲み、食べ、昔話に花を咲かせました。名残は尽きぬが予算が尽きるので、二十時校歌の大合唱で宴会終了、後はそれぞれ自費で深夜まで飲み、歌い、語り、懇親を深めていただいた。

翌十七日(火)九時宿舎を発って、明石大橋舞子公園、灘の酒蔵、南京中華街、北野工房、異人館等々を散策、十六時に新神戸駅到着、互いの健康と再会を誓って、上り・下りの新幹線でそれぞれの家路に就きました。

この同期会から二週間後、写真担当の葛井君からDVDが到着。プロ顔負け、というよりプロ以上の素晴らしい映像テクニック、「千の風について」のバックミュージックのもとに、同期会の「出会い」から「別れ」までの情景、亡き友の在りし日の写真が挿入され、再度の感激に浸ることができました。参加の皆さんもこのDVDを楽しまれたことと思います。なお、東鷹同窓会ホームページ掲載の本部要請がきていますが、個人情報を含みますので今後の同期役員会で検討したいと思います。次回に向けて同期会員のご健勝を祈ると共に、葛井君に感謝!感謝!

吉田 喜代士 (昭和35年卒)

